

International Pole Sports Federation

Artistic Pole Championships スコアシステム 2019 / 2020



www.polesports.org

Copyright © 2019 IPSF

この文書は IPSF の発行した英語版を（日本語へ）訳したもので、英語版が原本となります。英語版と日本語版に解釈の違い、不明瞭な説明や解釈の捉え方に違いがある場合は英語版が優先されます。

本書は、IPSF に認定された競技大会のみに使われるものとしします。
IPSF の許可無く、本書の複製や使用を行うことは、違法行為となることがあります。



Table of Contents (目次)

はじめに	3
DIVISIONS (ディビジョン)	3
CATEGORIES (カテゴリー)	3
CHOREOGRAPHY (振り付け).....	4
Visual Effectiveness (ビジュアル的な有効性).....	4
Creative Combinations (創造的なコンビネーション).....	4
Creative Interpretation (創造的解釈)	4
Flow (フロー).....	5
Musical Interpretation (曲の解釈)	5
Storytelling (ストーリー性)	5
Theme (テーマ)	5
Originality (独創性).....	6
EXECUTION (実行).....	6
Balance of Elements (エレメントのバランス).....	6
Stamina & Control (スタミナ& コントロール).....	6
Technical Skills and Tricks (技術的スキル及びトリック)	7
Lines and Placement (ラインと配置)	7
PRESENTATION (プレゼンテーション).....	7
Authenticity (信憑性).....	8
Energy: performance level (エネルギー: パフォーマンスレベル).....	8
Stamina: Effortless Routine (スタミナ: 巧みなルーティン)	8
Projections, Poise and Confidence (投影, ポーズ及び自信).....	8
OVERALL PERFORMANCE (全体的なパフォーマンス).....	9
Impact and Memorability (インパクト及び想起性)	9
Inspirational (心を揺さぶるような演技)	9
DEDUCTIONS (減点).....	9
Slip (スリップ).....	9
Fall (落下).....	10
Costume Malfunction (コスチュームの故障)	10
DOUBLES (ダブルス)	10
AWARDING POINTS (付与されるポイント)	10
FEEDBACK (フィードバック).....	11
SCORE CARD (スコアカード):エラー!ブックマークが定義されていません。	
MASTER JUDGE PENALTIES:マスタージャッジ減点.....	12
THEME / TECHNICAL SHEET:テーマ/テクニカルシート.....	14

Rules and Regulations	16
DEFINITIONS (定義)	17
ELIGIBILITY (資格基準)	17
1. Division (ディヴィジョン).....	17
2. Categories (カテゴリー)	18
3.Age (年齢)	18
4.Performer Selection Process (演者選抜手順).....	18
APPLICATION PROCESS (申請手順)	19
5.Initial Application (初期手続き)	19
6.Music Choice (曲の選定).....	19
7.Thema/Technical Sheet(テーマ/テクニカルシート)	20
REGISTRATION PROCESS (登録手順)	20
8.Performer Registration (選手登録)	20
PERFORMING (演技)	21
9. Performance Time (演技時間).....	21
10. Theme (テーマ)	21
11. Costume(コスチューム)	21
12. Props(小道具)	22
11. Hair and Makeup (髪型と化粧).....	22
12. Grips (グリップ)	22
12. Stage (ステージ).....	22
13. Poles (ポール).....	22
14. Filming (撮影).....	23
JUDGING (審査)	23
15. Judges and Judging System (審査員と審査システム).....	23
16. Disqualification (失格)	24
17. Results (結果).....	24
18. Awards (賞)	24
RIGHTS AND RESPONSIBILITIES (権利と責任)	25
19. Rights and Responsibilities of the Performers (演者の権利と責任).....	25
20. Rights and Responsibilities of the Organiser (主催者の権利と責任)	25
COMPLAINTS (抗議)	26
21. General Complaints (般的抗議).....	26
<u>IPSF SCORING SYSTEM (IPSF スコア採点システム)</u>	27
<u>IPSF COMPETITIONS NO-SHOW POLICY</u>	28

はじめに

IPSF アーティスティックシステムは、振り付け、難易度、実行、プレゼンテーションの4分野から構成される。演者はこのすべての分野において審査される。この4分野すべての合計点が最終スコアとなり、最高得点取得者が優勝となる。最低得点は0点であり、最高得点は100点とする。難易度と実行には最高40点、パフォーマンスに対しては最高で60点まで与えられる。コンパルソリーのエレメントはなく、テクニカルなスキルよりパフォーマンススキルのほうに高い得点が付与される。

IPSF 全ての審査員は IPSF アーティスティックスコアシステムのトレーニングを十分に受けているが、芸術的なパフォーマンスのため主観性を完全に排除することはできない。審査員のスコアが最終決定である。

Divisions (ディビジョン)

- アマチュア
- セミプロフェッショナル
- プロフェッショナル

Categories (カテゴリー)

- ジュニア (14 - 17)
- シニア男子 (18 - 39)
- シニア女子 (18 - 39)
- マスター 40+ (性別で分ける可能性もある)
- ダブルス 18+

審査員が何を審査するかの簡単なまとめを下記に示す。すべての4分野に関する詳細なレイアウトはこの文書に示されており、それにより演者が成功裏に自身のパフォーマンスを創作することができる。

Choreography (振り付け)

- 見栄えのする有効的な演技
- コンビネーションを利用した創造性
- 流れのある演技
- リズムのある演技で音楽にムーブメントを取り入れたもの
- テーマや曲との関連性
- ポール上、またポールに触れてないときのオリジナル性
- 綺麗なボディラインと膝やつま先の直線性 (膝が少しの緩みも無い、足首の緩みが無いなど)

Execution (実行)

- ムーブメントを有効的にコントロール
- 最高レベルに達するために技術的なスキルを実行
- ボディラインや体の位置を利用し有効的に表現

Presentation (プレゼンテーション)

- エネルギッシュな演技
- 安心感があり巧みな演技
- 自身に満ち溢れた演技
- 観客や審査員を引き込むような演技

Rules and Regulations をよく読み、音楽、髪型、化粧、コスチュームやグリップに関する規制を確認すること。

注意：IPSF の規制や倫理基準に準じない演者は罰則を科せられる時がある。

Choreography (振り付け)

最大 40 点が振り付けに付与される。このセクションでは次の 8 分野において審査が行われる。

- ビジュアル的な有効性
- 創造的なコンビネーション
- 創造的な解釈
- フロー
- 曲の解釈
- ストーリー性
- テーマ
- 独創性

審査員はポール上及びポールから離れたところで安心感があり巧みに演じられた振り付けを期待している。

このセクションは次の分野に分けることができる:

VISUAL EFFECTIVENESS (ビジュアル的な有効性)

定義: ビジュアル的に有効的な演技とは、有効的に演技の本質を伝える能力を有するものである。

審査員が期待しているのは:

- 見て興味を掻き立てるもの
- 流れのあるもの
- エンターテインメント度が高いもの
- 観客と感情的にコネクトできるもの
- 照明、音楽、コスチューム、振り付けそしてスキルのすべてが合わさったバランスの取れたもの
- パッケージ全体

最大得点-5点

CREATIVE COMBINATIONS (創造的なコンビネーション)

定義-創造性: 想像的で独特なアイデアをもってステージ、且つ/もしくはポールワークを作り出すこと

定義-コンビネーション: 複数の動きをつなげてポール上もしくはポールから離れてスムーズに行うシークエンスを指す。これにはダンス、フロア、ポールの動きが含まれる。

審査員が期待しているのは:

- 一見変わった、興味深いまたオリジナルティーのある、ポール上、もしくはポールを離れたところで行うコンビネーション
- 曲にあった創造性の高い振り付けがされたコンビネーション

最大得点-5点

CREATIVE INTERPRETATION (創造的解釈)

定義 -創造性: 想像的で独特なアイデアをもってステージ、且つ/もしくはポールワークを作り出すこと

定義 -解釈: 何かの意味を伝えることができる能力

審査員が期待しているのは:

- テーマを伝える能力
- オリジナルティーのあるやり方でメッセージ、感情、アイデア、ストーリーを表現もしくは伝える能力

最大得点-5点

Flow (フロー)

定義: 演者の動きやダンスの優美。フローとは継続している状態を示し、一定の動きや動きの推進力が止まらない事を意味する。素晴らしい演者は動きの中にフローがあり、努力したように見えない印象を与えることができる。

審査員が期待しているのは:

- ステップ間のつながりがなめらかである
- ステージで行う動きのつながりがなめらかである
- ポール上での動きのつながりがなめらかである
- コントロールされたフロー
- フローがどのように利用され音楽に反映しているか

最大得点-5点

MUSICAL INTERPRETATION (曲の解釈)

定義: 曲の解釈とは、音楽、動き創造性の中の相互作用を指す。音楽性には、**感受性**と**創造性**という大きく2つのコンポーネントで構成されている。

音楽への感受性とはリズム、テンポ、言葉遣い、ムードといった音楽のコンセプトを受け取り、理解し、感受性が高く、実際上の知識を有する能力を指す。

音楽への創造性(音楽の芸術性)とは付随する音楽と関係性をつけ、解釈し、曲を区切り、伴奏がなかったとしても音楽に関連する動きのダイナミクスを付け加える能力で、またそれがユニークで興味深い方法で行われる能力を指す。

したがってダンスにおける音楽性とは演者が動きを通して音楽を解釈し、演出することにおいて感受性が高く創造性がある度合いを示すものともいえる。ダンサーの芸術性を表現するために重要な要素といえる。

審査員が期待しているのは:

- 動きを通しての音楽の解釈
- コスチュームを通じての音楽の解釈
- 小道具（利用されるのであれば）を通じての音楽の解釈

最大得点-5点

STORYTELLING (ストーリー性)

定義 -ストーリー性: メッセージや意味を伝える、ストーリーを伝えること

審査員が期待しているのは:

- ストーリーが明確で、焦点があって、演技全体を通して観客を引き付けているか?
- 明確な物語の流れがあるか、そして演技全体を通して一貫しているか（最初、中盤、最後など）

最大得点-5点

THEME (テーマ)

定義: 芸術的作品に頻発する要素である主なアイディア。テーマは曲、コスチューム、振り付け、動きにあったもので、観客に理解できるコンセプトでなくてはならない。

審査員が期待しているのは:

- 音楽と振り付けの明確な関連性
- 演技全体を通してビジュアルでテーマを伝えることができる

最大得点-5点

ORIGINALITY (独創性)

定義: 想像的で独特なアイデアをもってステージ、且つ/もしくはポールワークを作り出すこと

審査員が期待しているのは:

- 演者の振り付け及び動きにおける独創性且つ/もしくは想像性
- 演者のトリック、つなぎ、コンビネーションにおける独創性、且つ/もしくは想像性

最大得点-5点

Execution (実行)

実行には最大 20 点付与される。このセクションでは次の 4 分野において審査される。

- スタミナ&コントロール
- エレメントのバランス
- 技術的なスキル及びトリック
- ボディーラインと配置

審査員は高いレベルの実行及び適切にアライメントされた体の形で行われる動きを期待している。

このセクションは次の分野に分けることができる:

BALANCE OF ELEMENTS (エレメントのバランス)

定義 - バランス: 同等もしくは適正な割合で様々なエレメントを有すること

審査員が期待しているのは:

- ストーリーを伝えるために様々なエレメント/ツールを使える能力 (例えば、フロアワーク、空中での動き、ダンス、アクロバティック、静けさ)
- テーマ/メッセージ/ストーリーを強化するため、コスチューム、小道具、ステージ上のスペースを利用する能力

最大得点-5点

STAMINA & CONTROL (スタミナ&コントロール)

定義 - スタミナ: 長時間に渡り体力を保持できる能力

定義 - コントロール: 演技中体全体をコントロールし、常に継続して意図する動きをできる能力

審査員が期待しているのは:

- 手足のコントロール
- 全ての動きの中にあるバランス
全ての動きにコントロールされており、振り付けが明確に演じられる

最大得点-5点

TECHNICAL SKILLS AND TRICKS (技術的スキル及びトリック)

定義: 高度、且つ/もしくは新しいスキル及びトリックがフロア及びポール上でルーティン全体において組み合わせながら行えること。演技全体を通してクリーンな実行が要求される。

審査員が期待しているのは:

- ポール上、ポール以外でクリーンなアライメントを持った体の配置
- トリックやコンビネーションの始まり及び終わりがクリーンであること
- クリーンな技術

最大得点-5点

LINES AND PLACEMENT (ラインと配置)

定義 - ライン: ラインとはステップ、ポーズ、トリックを行っている間のダンサーの完全なボディーの外郭を表す用語である。一般的には演者のラインを指す。つまり、審査員は足の先から頭の先までそしてその間のすべての完全なる外観を期待している。特に足のラインを見ている場合は、コネクションや、つま先の置き方の複数の重要なポイントの形、足首、足の形、そして脛脛への関連性を見る。同様の基準が足や、手にも適用される。

定義 - 配置: 配置とは体全体や体の一部をポール上もしくはポール以外に置くことを指す。

審査員が期待しているのは:

- 足首から足先までが常に伸びている（意図的に曲げているとき以外）
- 足がカマ足になっていない
- 腕と足が完全に伸びた状態である
- 胸が持ち上げられている状態で、背中がまっすぐで、頭が上に向けた状態で、肩は耳から離れている正しい姿勢
- 動きに入るとき、出るときの体の配置
- フローと体の配置のコントロール
- 動きが実行されるために必要な正しい体の位置

最大得点-5点

PRESENTATION (プレゼンテーション)

最高 20 点が振り付けに付与される。このセクションでは次の 4 分野において審査が行われる。

- 信憑性
- エネルギー: パフォーマンスレベル
- スタミナ: 巧みなルーティン
- 投影、ポーズ、自身

審査員は観客及び審査員を演技に引き込むような自信に満ち溢れた演技を期待している。音楽が早い、遅いにかかわらずルーティン全体を通して高いエネルギーレベルを維持できること。

このセクションは次の分野に分けることができる

AUTHENTICITY (信憑性)

定義 - **信憑性**: 嘘偽りのない、こうだと言われたことが本当にそうであること ; 本物

審査員が期待しているのは:

- 演者は感じたこと及びストーリーを信じていることを伝えていたか?
- 全ての動きやジェスチャーに対してコミットメントを示していたか?
- 演者がストーリーを信じさせることができたか?

最大得点-5点

ENERGY: PERFORMANCE LEVEL (エネルギー: パフォーマンスレベル)

定義: 動きの重力、テクスチャ、フローに焦点を当てたダンスエレメント ; 例えば、浮き上がるような、スウィング、突発的で、スムーズで、キレのある、衝撃的な、振動性のある、爆発的なエレメントはすべて成功したパフォーマンスには必要である。

審査員が期待しているのは:

- 音楽に関連して、体の全てのアスペクトにおいてコントロールされているような動きを力強いコントロール力
- 演技全体を通してバランスが取れており、バリエーションも豊富であること
- 一貫性したエネルギーレベル

最大得点-5点

STAMINA: EFFORTLESS ROUTINE (スタミナ: 巧みなルーティン)

定義: 高いレベルのエネルギーとスタミナを維持しつつ、パフォーマンス全体を通して努力したように見えない能力

審査員が期待しているのは:

- 全体を通して継続したエネルギーレベル
- パフォーマンスのどのポイントにおいても疲れたように見えないこと
- スタミナ切れのためフローが欠落したり音楽性が損なわれることがないこと

最大得点-5点

PROJECTIONS, POISE AND CONFIDENCE (投影, ポーズ及び自信)

定義 - **投影**: 演技を通じて内面の気持ちや感情を投影する能力

定義 - **ポーズ**: 演技を通じて落ち着いていて優美である能力

定義 - **自信**: ステップ一つ一つにおいても確信に満ちており容易に演技をする能力

審査員が期待しているのは:

- 高いレベルで自信を維持できどの時点でも低減することがない。
- どんな問題にもかかわらず冷静さを保てること
- 緊張を見せず、全体を通して優美さを維持できること

最大得点-5点

OVERALL PERFORMANCE (全体的なパフォーマンス)

演技の全体的なプレゼンテーションに最大で 20 点付与される。このセクションでは 2 つの分野が審査される:

- インパクトと想起性
- 心を揺さぶるような演技

審査員は印象深く且つ/もしくは心を揺さぶるような演技を期待している。

このセクションは次の分野に分けることができる:

IMPACT AND MEMORABILITY (インパクト及び想起性)

定義: 審査員に影響力を与える演技で、肯定的な印象を長期にわたって残せるような演技

審査員が期待しているのは:

- 考えさせられるような振り付け
- 創造的なトリック、音楽、振り付けで一見違う演技
- 余情を残すような新しいもしくは違った形に変えられた何か

最大得点- 10 点

INSPIRATIONAL (心を揺さぶるような演技)

定義: 創造的な心揺さぶることができる演技

審査員が期待しているのは:

- 何かしらの影響を与えるような演技
- 観客の心に残るような演技

最大得点- 10 点

DEDUCTIONS (減点)

失敗毎に減点が与えられる。このセクションでは 3 つの分野が審査される。

- スリップ
- 落下
- コスチュームの故障
- 小道具の不備

明らかな失敗には審査員は減点を与える。

このセクションは次の分野に分けることができる

SLIP (スリップ)

定義: 手や足の明らかなスリップで動きのフローが途切れること

審査員が注目しているのは:

- フローが途切れるような足や体のスリップ
- 明らかなスリップ。再調整には減点は与えられない。

1 回ごとの減点ポイント--1pt

FALL (落下)

定義: 落下とは、予期せずコントロールされていない状態で素早く床に落ちることを指す。これはポール上にいる/いないに関わらず、いかなる姿勢からの落下をも含む。

審査員が注目しているのは:

- 演者が自分を守るために床に手をつけてバランスをとる必要があるような状態
- 落下は明らかでなくてはならない

1回ごとの減点--3pt

COSTUME MALFUNCTION (コスチュームの故障)

定義: コスチュームの故障とは事故的にコスチュームの一部がずれたり、落ちたり、また露出したり且つ/もしくは不適切になった場合

審査員が期待しているのは:

- コスチュームは固定されている
- 性器が見えないこと

1回ごとの減点--3pt

Prop Malfunction (小道具の不備)

定義: 小道具の不備とは、小道具がステージ上で不具合が起きたり壊れたりすること

審査員が期待しているのは:

- 小道具が適切に機能をなしている
- 小道具ステージエリアから簡単に取り除くことができるものである

1回ごとの減点 -1pt

DOUBLES (ダブルス)

ダブルスも上記の基準により評価される。ダブルス演者はこれら基準に両方の演者がコンビとして審査されることに留意すること。

AWARDING POINTS (付与されるポイント)

それぞれのセクションにおいて（減点を除く）、演技全体のマジョリティーによってポイントが与えられる。

審査基準を下記に示す:

0 = 欠落	存在しない、演技の 10% 以下
1 = 不足	ほぼ存在しない、演技の 20 以下
2 = 普通	少ない量、演技の 20% -40%
3 = 平均的	普通の量、演技の 40% - 60%
4 = 良い	大量、演技の 60% - 80%
5 = 大変良い	演技の 80% 以上

FEEDBACK (フィードバック)

審査員の決定は絶対であり、審査に関する協議やフィードバックを審査員やオーガナイザーに求めることはできない。審査結果は、全ての審査員のスコアの平均にマスタージャッジの減点を加えたものをファイナルスコアとする。



ARTISTIC POLE SCORE CARD

演技者名前:		日付:	
国 (地域) :		協会名:	
ディビジョン:	カテゴリー:	審査員名:	
Judging Criteria (審査項目)	Technical Value	Score	Comment
0 = Absent; 1 = Poor; 2 = Fair; 3 = Average; 4 = Good; 5 = Excellent			
CHOREOGRAPHY (振付)	最高: 40 POINTS		
Visual effectiveness (ビジュアル的有効性)		5	
Creative combinations (創造的コンビネーション)		5	
Creative interpretation (創造的解釈)		5	
Flow (フロー)		5	
Musical interpretation (曲の解釈)		5	
Storytelling (ストーリー性)		5	
Theme (テーマ)		5	
Originality (独創性)		5	
		TOTAL:	
EXECUTION (実行)	MAXIMUM: 20 POINTS		
Balance of elements (エレメントのバランス)		5	
Stamina & Control (スタミナ&コントロール)		5	
Technical skills – Tricks (技術的スキルトリック)		5	
Lines & placement (ラインと配置)		5	
		TOTAL:	
PRESENTATION (プレゼンテーション)	MAXIMUM: 20 POINTS		
Authenticity (信憑性)		5	
Energy: performance level (エネルギー・パフォーマンス)		5	
Stamina: effortless routine (スタミナ・巧妙さ)		5	
Projection, poise & confidence (投影、ポーズ、自信)		5	
		TOTAL:	
OVERALL PERFORMANCE (全体的パフォーマンス)	MAXIMUM: 20 POINTS		
Impact and Memorability (インパクト、想起性)		10	
Inspirational (心揺さぶるような演技)		10	
		TOTAL:	
DEDUCTIONS (減点)	- POINTS		
Slip (スリップ)		-1	
Fall (落下)		-3	
Costume malfunction (衣装不備)		-3	
Prop malfunction (小道具不備)		-1	
Master Judge Penalties (マスタージャッジ減点)			
TOTAL POINTS (100 Possible)		TOTAL:	

Master Judge Penalties: マスタージャッジ減点

選手は下記項目について演技中にマスタージャッジにより減点をされる場合がある：

Criteria	Limitations	Penalty
音楽提出が締切を過ぎた場合	締切日を過ぎ、大会開催から 48 時間前までに提出された場合	-1 (一日ごとに減点)
	大会開催から 48 時間以内に提出された場合	資格剥奪
ルール規則に反した音楽の使用	ルール規定を参照のこと	-3
テーマ/テクニカルシート	オーガナイザーが定めた言語で提出しなかった場合 (一般的言語としては英語が好ましい)	-1
	誤ったシートを提出した場合： PDF で提出したり、公式のシートで提出しなかった場合	-1
	提出日から 1 ~5 日遅れての提出	-1 (1 日ごと減点)
	提出日から 5 日以上遅れての提出	資格剥奪
	コスチューム/小道具について虚偽の情報を記載した場合	資格剥奪
申込フォームへの虚偽および誤った情報の記載	必要情報の一部に虚偽や誤った情報がある場合	-5 (都度減点)
	年齢、ディビジョン、カテゴリーの誤った記載	資格剥奪
アナウンス時ステージに出るのが遅れた場合	60 秒までの遅れ	-1
	1 分以内にステージに現れない場合	資格剥奪
演技時間	決められた演技時間より 5 秒以上短い場合	-3
	決められた演技時間より 5 秒以上超過している場合	-5
人間小道具	アシスタント可能最大時間の 30 秒を超えた場合	-5
	パフォーマンスをリフトする行為	-5 都度減点
	人間小道具がポールに触れる行為	-5 都度減点
妨害行為	選手が演技中にステージ外よりキュー出しを受けた場合	-1
	選手/コーチ/代表者が審査員席や審査員控室に近づく行為や、大会中に審査員の審査の妨げになる行動をとった場合	-3
演技の終始不備	ステージで演技を始めない、または終わらない場合	-1 都度減点
小道具のセットアップ/取り外し	3 分以内に行えなかった場合	-1 都度減点
小道具の回収	小道具を演技後に回収できなかった場合	-3
グリップ類	ポールに直接グリップ類を付着される行為	-5
	禁止されているグリップ類の使用	
ルールに違反した装飾品や小道具の使用	ジュエリーなどの装飾品/ピアスの着用 スタッドイヤリング/単色プラグを除く)	-3
	マスタージャッジの許可の降りていない小道具やアイテムの演技中での使用	-5

ルールに相応しくない コレオグラフィー、コ スチューム、ヘアメイ ク	-ルールに反したコスチューム	-1
	-宣伝要素のある言葉、ロゴ、宗教的用語、ネガテ ィブな意味を含む言葉の使用	-3
	-挑発的なコスチューム、コレオグラフィー（レザ ーやラテックスなどの素材の仕様も含む）	-5
	-攻撃的、挑戦的なコレオグラフィーや下劣な行動	資格剥奪
演技中にトラスに触る などの行為	演技中にトラスシステムに触ったり使用すること は絶対に禁止。またステージバック幕、ステー ジエリア内にある照明器具に触るのも禁止。ステー ジ外に踏み出すことも禁止。選手が触れていいの はポールのみである。（小道具は触れてよい）	-1 都度減点
全体ルールの違反	- 節度に欠けたジェスチャー、不敬な言葉を個人的 および公的に選手、関係者へ発言する場合	-10
	-公的に、選手に、観客に、そしてスポーツ関係者 に対して意図的にストライキを起こしたり、罵声 や暴力行為を行った場合。 -医療目的の場合を除いて開催前/開催中にドラッグ 使用、アルコールの摂取。 -開催前後、開催中の裸になる行為 -ルール規定の違反を複数行った場合	資格剥奪

Injury during a routine (演技中の怪我)

医学的な治療が必要とマスタージャッジが判断した場合、演技中であってもただちに演技を中断する。もし演者が1分以内に再開することができるのであれば、中断した所からすぐに開始すること、またもしそれが不可能な場合は、中断した箇所より 10 秒前から再開することができる。

もし、演者が構成演技を行う事ができなかった場合は、スコアは与えられず、棄権するものとみなす。それは、途中で演技を中断し、そこから再開することができなかった場合も同様にスコアは与えられず、棄権するものとみなす。中断は1回限りである。

音響設備による不備を除いては、演技の初めからやり直すことは許されていない。

Theme / Technical Sheet (テーマ/テクニカルシート)

ここでテーマ/テクニカルシートの記入方法を説明する：必ずマスタージャッジペナルティー減点セクションの提出遅れと記載情報の虚偽の場合を確認すること。注意：シートは必ず Word で黒字で記載すること。IPSF 指定のテーマ/テクニカルシートを使用すること、もし指定のものでないシートを提出した場合は-1 となる。

Performer(s):

ここには選手のフルネームを記載。ダブルスの場合は 2 人のフルネームを記載すること。

Country/Region:

ここには演技者または選手の出生国または地域を記載。世界大会の場合はその選手の国のみを記載。国内大会およびオープン大会では、その選手の地域/州（県）/国を記載。

Division:

ここには以下の中から選手にあてはまるものを記載： Amateur/Semi-Professional /Professional. Rules & Regulations のカテゴリー分類を参照。

Category:

ここには下記の中から選手にあてはまるものを記載： Senior/Masters 40+/Doubles /Junior/ そして Men か Women どちらかも記載すること。例) Senior Men, Junior, Doubles.

Date:

ここにはシートを提出する日付を記載すること。もし新しいシートを再提出する場合は、その新しく提出する日付を記載すること。

Federation:

ここには選手が所属する IPSF の認定した協会の名前を記載。もし IPSF の認定した協会が存在していない国の選手の場合、ここは空欄にすること。

Performer(s) Signature: 必ず選手自身によって署名すること。

Coaches Signature: もし選手に IPSF の認定コーチがいる場合、そのコーチの名前をここに記載。もしジュニアの選手の場合で IPSF の認定コーチがついていない選手の場合、選手の両親または付き添い人の名前を記載すること。



ARTISTIC THEME / TECHNICAL SHEET

演技者名:	日付:
国 (地域):	協会名:
ディビジョン:	カテゴリー:
THEME: Please give a brief overview of your performance theme (パフォーマンスの全体テーマを簡潔に記載)	
PROPS (other than human props : 小道具 (人間小道具以外のもの)) Please give full details including prop size, time to install and remove, assistance required, storage needs 小道具のサイズ、セットや取り外しのタイミング、アシスタントが必要か、小道具の保管場所が必要かどうか	
HUMAN PROPS: Please give full details how it adds to your story and how many people will be used as human props 人間小道具: 演技の中にどのように利用するのか、また人間小道具として何名を利用するのか	
If you are removing costume please explain how and why もし衣装の脱衣がある場合、どのように、また何故か記載	
Please confirm the configuration of your poles (spinning or static) ポールの希望配置 (スピニングまたはスタティック)	
By ticking the boxes I/we confirm that: 下記ボックスへチェックで下記同意する	By ticking the boxes I/we confirm that my/our performance: 下記ボックスへチェックで下記同意する
<input type="checkbox"/> 私 (私達) は衣装の写真を添付します <input type="checkbox"/> 私 (私達) は小道具の写真を添付します <input type="checkbox"/> 私 (私達) は音楽を添付します	<input type="checkbox"/> いかなるヌーディなものを含みません <input type="checkbox"/> 武器や武器に見立てたものを使用しません <input type="checkbox"/> 性差別的、人種差別的、同性愛嫌悪な要素を含みません <input type="checkbox"/> 暴力的、宗教的な要素を含みません <input type="checkbox"/> 家族で見るに適切な内容です
演技者署名:	コーチ署名:

Artistic Pole Championships

RULES AND REGULATIONS



www.polesports.org

COPYRIGHT© IPSF November 2019

この文書は IPSF の発行した英語版を日本語へ訳したもので、英語版が原本となります。
英語版と日本語版に解釈の違い、不明瞭な説明や解釈の捉え方に違いがある場合は英語版が優先されます。
本書は、編集改定されるものであり、変更されることがある

Definitions (定義)

カテゴリーとは、それぞれのディビジョンで決められた年齢、性別での分類である。

競技大会とは、IPSFが認定した競技大会を指す。

ディビジョンとは競技大会のレベルによる分類である。

文書類とは本文書全体を指す。

IPSFとはInternational Pole Sports Federation（国際ポールスポーツ連盟）を指す。

主催者とはIPSFが認定する競技大会を運営するものを指す。

パフォーマンスとは、演者のプログラム開始から終了までを指し、スピン、トランジション、逆さ姿勢、ホールド、ポーズ、トリック、リフト、アクロバティックムーブ、ジムナスティックムーブ、スライド、クライム、キャッチング、ドロップ、スプリット、フロアワークを含む。

演者とは競技大会に招待され出場するものを指す。

WAPCとはWorld Artistic Pole Championships（ワールドアーティスティックポール大会）を指す

Eligibility (資格基準)

1. DIVISION (ディヴィジョン)

- プロフェッショナル
- セミプロフェッショナル
- アマチュア

7.1 Amateur (アマチュア)

基本的な経験がある演者。下記に値するものはアマチュアでエントリーすることはできない。

- 過去にIPSF アーティスティックポール競技大会の国内もしくは国際大会でセミプロフェッショナルもしくはプロフェッショナル部門で出場した経験がある
- 過去にIPSFアーティスティックポール競技大会の国内もしくは国際大会でアマチュア部門でトップ3位までに入賞経験が2回ある
- 現在ポールスポーツ、ポールダンス、ポールフィットネスのインストラクター、講師、トレーナーである、またはあった
- ポールのパフォーマーやプロモーターとして金銭を受取している

7.2 Semi-Professional (セミプロフェッショナル)

十分な経験がある演者で下記の条件を満たすものはプロディビジョンに応募してもよい。

- 中級～上級レベルのクラス受講の生徒である
- 現在ポールのインストラクター、講師、トレーナーである、またはあった
- 過去IPSFアーティスティックポール競技大会のプロフェッショナル部門に参加したことはない
- 過去にIPSFアーティスティックポール競技大会のセミプロフェッショナル部門でトップ3位に入賞経験が2回ある
- ポールのパフォーマーやプロモーターとして金銭を受取している。

7.3 Professional (プロフェッショナル)

プロフェッショナル部門とは国を代表するトップレベルの演者を指す。典型的なプロフェッショナル演者とは:

- 上級レベルのクラス受講生とである
- 現在ポールのインストラクター、講師、トレーナーである、またはあった
- 過去に国内・国際IPSF アーティスティックポール競技大会のプロフェッショナル部門参加
- 過去にIPSFアーティスティックポール競技大会のセミプロフェッショナル部門でトップ3位までに入賞経験が2回ある

2. CATEGORIES (カテゴリー)

下記に示すカテゴリーのプロフェッショナルカテゴリーを、WAPCの代表選手を決定する為、ナショナル大会にて開催しなければならない

- Juniors 14 – 17
- Seniors Women 18 – 39
- Seniors Men 18 – 39
- Masters 40+
- Doubles 18+

全てのカテゴリーについてオープン大会ではプロフェッショナル部門が開催される。オープン大会ではアマチュア部門及びセミプロフェッショナル部門は開催されない。

3.AGE (年齢)

年齢資格に関しては、そのシーズンのWAPC大会開催初日時の演者の年齢によって出場可能カテゴリーが決まる。

- ジュニア-WAPC開催当日で14 - 17歳
- シニア-WAPC開催当日で18 - 39歳
- マスター40+ - WAPC開催当日で40歳以上
- ダブルス-WAPC開催当日で18歳以上

*例: シニア演者で地域及び国内大会開催時は39歳だけれども、WAPC開催時には40歳になる場合; WAPCで自身のカテゴリーで演技ができるように、地域及び国内大会でもそのカテゴリーで演技をしなくてはならない。

4.PERFORMER SELECTION PROCESS (演者選抜手順)

- 4.1. オープンの大会へ参加する場合を除いて、すべてのナショナル大会のエントリー者は、その国の住民であるまたは永住者でなければならない。
- 4.2. 期日や締切等は忠実に守られなければならない。もし演者が申込みを期日までにしなかった場合は出場権利はなくなる。また、音楽の提出が遅れた場合は減点となる。
- 4.3. 大会参加は資格のある演者のみである。つまり予選、地域予選やビデオを予選などを通過した演者のみが参加できる。選抜手順は国内・国際大会のオーガナイザーによって明記されてなくてはならない。
- 4.4. 演者は正しい年齢カテゴリーに参加しなければならない。
- 4.5. 演技順番はくじ引きによって決定される。
- 4.6. 決勝出場のためには必要であれば予選ビデオを提出しなければならない。演者が演技できるのは1回限りである。
- 4.7. 演技のやり直しが認められるのは下記に示す場合のみである:
 - 音楽の技術的な問題
 - 健康及び安全面での問題（例ポールの転倒、クリーニング剤による床の汚れなどによる安全性に欠ける設備。しかしポールが滑りやすいといったことは含まれず、これは主観性が高いためである。）
 - マスタージャッジの判断
- 4.8. それぞれのカテゴリーでの最高得点演者が決勝へと進む。
- 4.9. 全カテゴリーの決勝者数*:
 - オーガナイザーの判断でカテゴリーにつき10-15名

*応募締め切り後、正確な人数が発表される。すべてのプロフェッショナルカテゴリーはたとえ応募が1名だったとしてもWAPCで演者が参加できるように開催しなければならない。

- 4.10. 演技カテゴリーで最高得点を得た演者が勝者となる。最高得点が2名だった場合、振り付けのポイントが一番高い演者が勝者となる。振り付けの特典も同一である場合、プレゼンテーションの高い演者が勝者となる。
- 4.11. 国内もしくは世界アーティスティックポール競技大会20XX年もしくはオープンアーティスティックポール大会20XX年（該当する場合）タイトルは生涯有効とする。
- 4.12. IPSFの国内アーティスティックポール競技大会のプロフェッショナルカテゴリーで1位となった演者全て、自動的にWAPC世界大会へ出場権利を得る。もしこの条件に追加する権利はIPSFにあり、もし追加となった場合はWASC開催前に公に発表される。
- 4.13. 国内大会の開催の無い国の演者は、WAPC世界大会出場権を得る為に他国のひとつのオープン大会に参加することができる。各国の中で最も高得点であった演者が自動的にIPSFのワールドランキングに加えらる。

Application Process (申請手順)

5. INITIAL APPLICATION (初期手続き)

下記に示す要件を満たさない場合には失格となる場合がある。

- 5.1. 全ての出場資格のある演者は下記の要件を満たさなければならない:
 - オーガナイザーのウェブサイトから申請書をダウンロードし、記入し、署名し、期日までにオーガナイザーのEmailアドレスに返信しなければならない。ウェブサイトが存在しない場合、申請書を得るためオーガナイザーに連絡すること。これはオープン大会の演者にも同様である。
 - 払い戻し不可の申請費用を支払うこと。申請書に申請費用と支払い詳細が申請書に明記されている。
 - 期日までに申請パックに示されているEmailアドレスにmp3のフォーマットで音源を送信すること。
 - テーマ/テクニカルシートを大会主催者側が定めた締め切りまでに提出すること。（マスタージャッジペナルティーを参照）パフォーマーはテーマ/テクニカルシートを予選と本選で変更してもよい。新しいシートは予選終了後1時間以内または大会主催者側が定めた時間までに提出すること。
注意：大会主催者が予選と本選でのシート変更の際特に必要と明記した場合を除き、手書きのシートはすべて認められない。署名もタイプすること。
 - 法律上の性別の情報を提供すること。依頼された場合、出征証明書のコピーを提出すること。
- 5.2. 全ての申請は主催国の言語で行うこと。オープン大会の場合は英語で申請を行うこと。
- 5.3. 全ての演者が健康で妊娠していない状態でなくてはならない。必要に応じて演者は医師から健康と運動能力に関する診断書を提出する場合がある。すべての情報は個人情報として機密扱いとなる。
- 5.4. 市民権もしくは永住権を有する場合のみその国の国内大会に参加することができる。二重国籍の場合はWAPCにおいて1国のみを代表すること。代表国を変更したい場合は次の国を代表する前に1競技年あけること。
- 5.5. 全ての申請は上記要件を期日までに行わない限り処理されることはない。

6. MUSIC CHOICE (曲の選定)

- 6.1. 演者が音楽を選択することができる；様々な音楽、アーティストの混合や、歌詞があるものでもよい。
- 6.2. 音楽は宗教的や軽蔑的な用語の含まれたものは禁止。不敬な言葉も禁止。
- 6.3. 期日までに音源を提出しなければ減点対象となる。大会開始48時間前までに音源が提出されなければ、演者は失格となる。
- 6.4. 大会オーガナイザーに期日までにMP3のフォーマットで音源を提出すること。演者の氏名、カテゴリーを明記すること。
- 6.5. 曲のコピーを、氏名、曲名、カテゴリを明記したCDもしくはUSBスティックメモリーで登録時に提出しなければならない。未提出の場合、その演者は演技を行えない場合がある。

7.THEME / TECHNICAL SHEET (テーマ/テクニカルシート)

7.1 選手は下記ルールを守らなければならない：

- 選手はテーマ/テクニカルシートを締め切りまでに提出すること、また大会主催者側の定めた言語で提出。
- シートは必ず黒字でタイプすること。大会主催者側によって特別に許可された場合を除き、手書きでコピーしたものは受付不可。
- 選手はそれぞれのシートに必ず署名すること。IPSF認定コーチがいる場合はその署名もすること。
- フォームの提出が遅れるごとに1日につき-1の減点となる（最大-5まで）。それ以上の遅延は資格剥奪となる。
- シートは必ず黒字でWord 文書でなければならない、それ以外は減点となる。署名も必ず手書きではなくタイプすること。
- シートは必ず大会主催者が定めた締め切りまでに提出すること。

Registration Process (登録手順)

8.PERFORMER REGISTRATION (選手登録)

正当な理由なくして、登録を正しく行わなかった演者は、世界中のすべての IPSF 認定競技大会へ 1 年間、出場停止となる。出場停止中の演者は、www.polesports.org に公開される。ペナルティーや出場停止処分無く出場をキャンセルする場合、競技大会開始 21 日以前に申し出なければならない。医学的な理由および緊急事態などの例外については、診断書ならびにそのための移動に関するチケットを証憑として、競技大会開始 1 日以前に、主催者へ提示しなければならない。緊急事態により、登録日に演者が来ない場合、競技大会終了後最大 7 日までに、必要な証拠書類を提出できる猶予期間がある。例外は認められない。(末頁の IPSF no show policy を参照)

- 8.1 書面による許可が無い限り、全ての演者は、主催により指定された時刻に到着し、登録を行わなければならない。
- 8.2 ダブルスを含むすべての演者は主催者が求めた場合市民権もしくは永住権を証明するものを提出すること。
- 8.3 全ての演者は下記に示す内容について登録時に署名しなければならない：
 - Rules and Regulationsを読み、同意していること。
 - The IPSF Code of Ethics (倫理規定)を読み、同意し、プロフェッショナルなスポーツ演者として相応しい行動をとること。
 - 演者にかかるすべての費用は演者自身が責任を負い、主催者には一切責任がないこと。
 - 演者に肖像権は帰属せず、その写真などはポールスポーツの世界的な普及のためにIPSFに帰属し、IPSFおよび開催側によって使用されること。また、その写真などについては、一切の報酬が支払われないこと。
 - 主催者側の認可したメディアによるインタビューや撮影に応じること。
 - 国内およびオープン大会には演者自身でリスクを負い、出場すること、あらゆる負傷や事故は、演者自身が責任を負い、主催者やIPSFは責任を負わないこと。
 - リハーサルと演技の時間を厳守すること。
 - 医療的に緊急を要する場合を除いて、表彰式に参加すること。
- 8.4 演技の妨害行為を行った場合、失格となること。

Performing (演技)

これらのルールは地域大会、予選及び本線に適用される。

9.PERFORMANCE TIME (演技時間)

演者は下記すべてのルールを順守すること:

9.1 演技時間は3.30分以上4分以下でなくてはならない。

9.2 4分以降の音楽はフェードアウトとなる。

10.Theme (テーマ)

テーマは全て開催の2週間前までにマスタージャッジによって承認が必要となります。この大会は親しみやすい好印象を与えるものであり、若い演者もいること、また客席には繊細な人も中にはいるかもしれないことを留意し、提出するテーマがふさわしいものであるかを確認してください。

11.COSTUME (コスチューム)

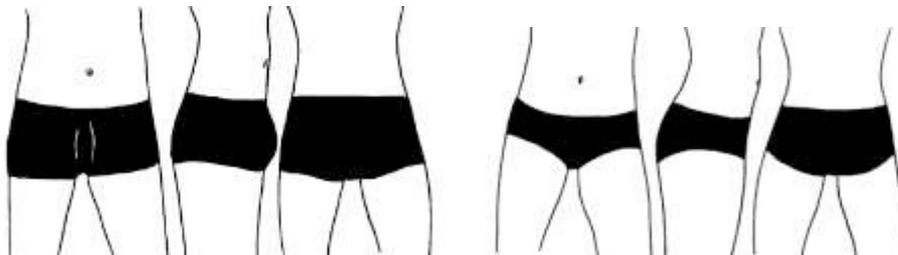
アート大会にふさわしいコスチュームでなくてはならない。すべての演者は骨盤と臀部、女子の場合は胸部が露出してないものでなくてはならない。衣装は大会開催の2週間前までにマスタージャッジによるチェックが必要です。下記に挙げる要求事項への違反は失格となる:

11.1 全ての演者に対しツーピースや裁断されたレオタードを許可。パンツのみの衣装は男子のみ許可。

11.2 女子のトップスは胸部をすべて覆った衣装で、不必要な切込みをなどは避けなければならない。

11.3 パンツは正面のカットは股関節より高い位置であってはならない(太腿と骨盤の境目)。また臀部をすべて覆わなければならない。

11.4 ショーツはどこから見ても尻の割れ目がカバーされてなくてはならない(つまり、お尻と太腿の境目も全てが覆われていなければならない)。



男性用ショートパンツ

女性のパンツ

11.5 長めのショーツやレギンスやズボンを着用してもよい。またスカートも着用可である。

11.6 体、両手、足先にグリップを補助するような衣装生地を使用することは禁止、ただし医療的に医師の診断書がある場合を除く。

11.7 靴: 演者は素足、体操用・ダンス用のプロテクター/バレエシューズ/運動靴で演技をしてもよい。ヒールやブーツは禁止である。

11.8 衣装は以下に挙げるものを含んではならない:

- 下着.
- 胸部や骨盤周辺を隠せない透明な衣装.
- 皮、ラテックス、PVC やゴム
- メタリックのパンツ (長ズボン)
- 演技そのものを阻止するものや、健康面と安全面を脅かす可能性のある衣装.
- オイル、クリームを体に塗ること.

11.9 ジャケット、ケープ、帽子などアウターの衣装を取り除くことは可能であるが、演者がその下に適切な衣装を着用している場合である。これらルールを順守しない場合失格となる。

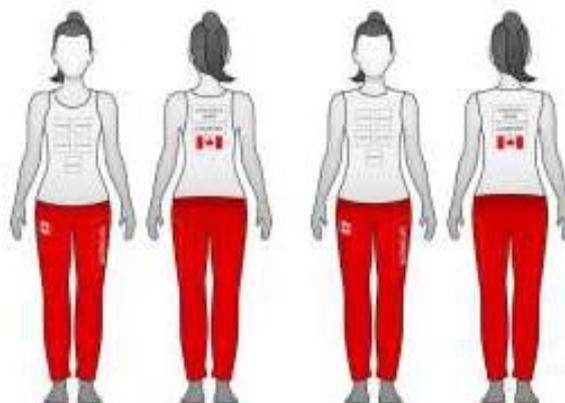
11.10 スポンサーのロゴを衣装に載せないこと。

11.11攻撃的でないタトゥーは認める：至上主義的な人権的なシンボル、暴力的な攻撃的シンボルなどは認めない。不適切なタトゥーがある場合は、肌色の包帯（テーピング）で覆うこと。メイクアップのタトゥーは禁止。

11.12ハンドバッグ/鞆類はいかなる形状であっても授賞式中のステージ上への持ち込み。携帯は禁止。また受賞式には必ずトラックスーツの着用が必須である。

11.13全ての選手とIPSF登録の認定コーチは各国の定めたルールに沿ってトラックスーツを着用しなければならない:

- トラックスーツはスポーツ用のものでなければならない。ズボン、Tシャツ/タンクトップ、ジャケットがセットになっていなければならない。フード付きのトップスは禁止。
- 授賞式の時を除いて、気温が高く暑い場合はジャケットの代わりにTシャツまたはタンクトップでいても良い。
- 世界大会時に着用するナショナルトラックスーツは付録2にあるWASCのルールに沿ったものでなければならない。
- トレーナーはトラックスーツの着用をすること。裸足は認めるが、他の靴や靴下は禁止。
- 同じチームのメンバーは全て同じトラックスーツを着用しなければならない。もしチーム/クラブ/スタジオ/学校/地方に所属していない選手はその国の協会のトラックスーツを購入し着用しなければならない（日本代表選手のトラックスーツではない）。
- チーム/クラブ/学校/スタジオ/地方のロゴはトラックスーツの前後どちらへ加えても良い。ただしロゴのサイズは10×10cm以内とする。
- 個人スポンサーのロゴはジャケットに一つまで、Tシャツ/タンクトップには5つまで加えても良い。ただしロゴのサイズは10×10cm以内で、チーム/クラブ/学校/スタジオ/地方のロゴよりも小さいものでなければならない。
- その他のロゴ、つまり個人的に想像したものやサインのようなものは加えてはならない。選手の名前および国の名前はトラックスーツに加えてもよい。
- オープン大会に出場する選手はその国のナショナルトラックスーツを着用すること。その国の選手はどのオープン大会であっても全員が同じトラックスーツを着用しなければならない。揃えることにIPSFの手助けが必要な場合、IPSFに連絡すること。
- 選手とIPSFの認可したコーチのみが公式なトラックスーツを着用しても良い。



12. PROPS(小道具)

小道具は大会開催の2週間前にマスタージャッジによってチェックされる。小道具は演技のアーティスティックテーマの一部として使用されるものである。選手は小道具のセットアップ、小道具の回収それぞれに対して3分以内行わなければならない。この制限時間を超えた場合は、-1の減点となる。また選手は下記ルールを守れなかった場合資格剥奪となる。

12.1 選手の安全性を脅かす恐れのあるアクセサリや小道具の使用は禁止。大会主催者側に相談すること。

12.2 小道具の不備があるごとに都度-1の減点となる（小道具の故障、破れなど）

12.3 もし人間小道具を使用する場合、選手は提出するテーマ/テクニカルシートにその人間小道具をどのように、自分のストーリーを伝えるために演技中使用するのかを記載すること。人間小道具は、演者である選手と別に3名までの使用であれば可能、3名以上は認めない。また、演技中に人間小道具がポールに接触することは禁止である。人間小道具は、ポールに触れることなく演者の選手をアシスタントしたりリフトすることは可能だが、30秒まで、それ以上のアシストは減点（マスタージャッジペナルティー参照）。またマスタージャッジが、その人間小道具がストーリーに必要でないと判断した場合は使用不可とする権利がある。

12.4 武器の形をした小道具の使用は認められない。おもちゃの武器も禁止（おもちゃの銃、槍、弓など）。体に描かれている武器に関しては可。

12.5 液体類の使用は禁止。密閉されたものであれば可能だが、プラスチックのように壊れる素材のものは禁止。

12.6 「鏡」を小道具として使用する場合：テーマ/テクニカルシートと共に使用する鏡の写真を添付し、マスタージャッジの承認を得なければならない。認められる鏡は、フレーム付きでスタンド脚付きのもので、壁やポールに立て掛けるのは禁止。また、必ずその鏡が演技中のどのような働きをもっているのかを記載し、またその鏡の構成素材をも記載すること（磁器、ガラス、木製フレームなど）

12.7 下記素材のものは使用禁止

- ・ ガラス製品
- ・ 紙吹雪
- ・ グリッター砲（グリッターの紙吹雪を出す大砲）

12.8 他のエアリアル器具を小道具として使用することは不可（下記に挙げているもの以外も不可）：

- ・ fabpole
- ・ Lollipop Pole
- ・ Loops や Circus loops
- ・ Hammock や silk など

13. HAIR AND MAKEUP(髪型と化粧)

13.1 いかなるヘアスタイルも可能である。

13.2 演技にあつたいかなる化粧も可能である。

14. GRIPS(グリップ)

14.1 IPSFのウェブサイトに記載している使用禁止物質を除いてグリップ保護製品を利用することが可能である。ポールには一切何も付けられていない。グリップ保護製品は、演者の体のみに付けるものとする。禁止されているグリップ保護製品は、IPSFのウェブサイトにて全てリストアップされているため必ず参照すること。

15. STAGE(ステージ)

15.1 ステージは、ポールの前後左右それぞれ3mの空間が必要である。またポール間の距離は2m90から3m10でなくてはならない。

16. POLES(ポール)

13.1 競技用のポールは、45mm径、使用可能高さ4mの、一体型真鍮製ポールでなくてはならない。

13.2 演技者はポールの設定を選択できる。設定は申請書に示すこと。

13.3 ポールの清掃については、以下のとおりである：

- 演技ごとに、2人以上の清掃者(ポール1本につき、1人ないしは2人)によってポールを清掃すること。ポールは全体を清掃されなければならない。最初にグリス除去剤を使い、その後に乾いたタオルまたは布で拭くこと。
- 演者が演技前にポールをチェックをしてもよい、必要であればポールの清掃を再度依頼することができる。
- 演者が希望する場合は、自身でポールを清掃してもよい。ただし、大会主催者側の提供する製品で清掃すること。
- 演者が自身で持ち込んだ製品を使ってポールを清掃することは禁止されている。医学的根拠がある場合、重度のアレルギーに対して例外を認める。
- アーティスティック大会に関わる全ての情報は大会主催者側より伝達されるものとする

17.FILMING (撮影)

- 17.1国内大会に出場する全ての演者は、自身の肖像権を放棄し、大会期間中の写真や動画について一切の報酬が支払われないことに同意しなければならない。また、それらの写真や動画が IPSF および国内大会開催側によって宣伝、トレーニング、プロモーション、商用に用いられることにも同意しなければならない。
- 17.2全ての演者は、IPSF の許可したメディアによるインタビューや撮影に応じなければならない。
- 17.3全ての演者は、出場するそれぞれのイベントについて、イベントの前、期間中、イベント後の競技に関する動画/写真撮影に同意しなければならない(例 ワークショップ、インタビュー、演技 など)。
- 17.4主催者による許可が無い限り、更衣室での写真撮影は、一切禁止である。
- 17.5全ての写真と動画の所有権は、主催者にある。

Judging (審査)

18.JUDGES AND JUDGING SYSTEM (審査員と審査システム)

- 18.1照合者によって点数が合算される。
- 18.2大会終了時にスコアが与えられる。
- 18.3審査員は常に演者及び観客から離れていなくてはならない。
- 18.4もし大会開催中に審査員と演者が会話をしていることが判明した場合は、その審査員および演者は資格剥奪となる。
- 18.5 審査員は審査をする年に選手として出場することはできない。同様に、審査員は審査をする年に IPSF の認めるコーチとして大会に参加することはできない。大会開催オーガナイザー/協会委員会メンバーも、開催する大会での選手としての参加、審査員やコーチとしての参加は不可（それが理由があり状況的に困難な場合はその旨を記載した文面の提出を IPSF 委員会へしなければならない）

	Athlete	Coach	Chaperone	Judge	Head Judge	Competition Organiser	Federation President
Athlete	X	X	X				
Coach	X	X	X				
Chaperone	X	X	X				
Judge				X	X		
Head Judge				X	X		
Competition Organiser						X	X
Federation President						X	X

上記表の緑の部分は可能な箇所、黒い部分は不可な箇所、赤い部分はIPSF重役委員会と相談の上考慮可能な箇所である。

18.6 協会長は大会開催の3か月以上前にIPSF重役委員会へ申し出をし、下記を満たす場合は大会へ出場することができる。

- ・協会長は審査員や選手と関わりをもたない
- ・協会長は選手のスコアフォーム/音楽/衣装や個人の秘密事項に関するものに関わりをもたない

個人の秘密事項に関して

- ・協会長は自身の大会で協会の代表であることを公に発表をしてはならない
- ・協会長は大会主催の手伝いができるように最初に演技をしなければならない
- ・協会長は審査員と選手との全ての関わりを持つ大会実行委員の存在を証明しなければならない
- ・協会長は必ず大会主催に関わる全てを管轄している実際の大会オーガナイザーの証明をしなければならない

もし上記ルールを守らなかった場合、罰則および必要な制裁が与えられる

18.7 ジャッジパネルは少なくとも3名の審査員（2名の審査員とマスタージャッジ）で構成される、それ以上の審査員で構成される場合は、奇数の審査員とすること。

18.8 5人以上の審査員がパネルにいる場合、偏見をなくしより公平になるよう、もし最低スコアをつけた審査員と最高スコアをつけた審査員のシートカウントしないこととする。ただし最低スコア/最高スコアをつけたのがマスタージャッジの場合はそのシートはキープ。もし二人の審査員のスコアが同じ場合、一人のスコア分をカウントしないで破棄することとする。

19.DISQUALIFICATION (失格)

大会中ヘッドジャッジの判断により演者は下記の場合に失格となることがある（マスタージャッジペナルティー参照のこと）：

- 19.1 文化的、宗教的な利益や手当を受けとってはならない。
- 19.2 冒瀆や不敬な行動、言動は禁止。
- 19.3 武器や武器をほのめかす小道具の仕様は禁止。
- 19.4 ルールと規程(rules and regulations)や倫理基準に違反した場合。
- 19.5 申請用紙に誤った、不正確な情報を記入した場合。
- 19.6 演技中にトラス等ステージの金具等に触れること。
- 19.7 不適切な振り付けやコスチューム。
- 19.8 事前の許可なく登録やリハーサルへの遅刻。
- 19.9 競技前のバックステージ集合への遅刻。
- 19.10 ステージへ呼ばれた際の登場の遅刻。
- 19.11 スポーツマンらしくない行為や、主催者やIPSFの評判を落とすような行為。
- 19.12 演者、主催者、審査員や観客の命や健康を脅かす行為。
- 19.13 禁止されているグリップ剤の使用。
- 19.14 直接大会中に審査員にコンタクトをとること、もしくは直接的間接的に大会前、及び大会開催中に審査員の決断に影響を及ぼす行為。
- 19.15 IPSFのいかなるスタッフに対し非常に無礼な言葉遣いや態度。
- 19.16 テーマ/テクニカルシートを5日以上経っても提出しない場合

20.RESULTS (結果)

20.1 全ての結果はコンピューターで照合される。

- 20.2 イベント後にスコアが公表される。選手が受け取るのは各セッションごとのスコアのみである。
- 20.3 全ての結果は、結果発表後24時間以内に主催者のウェブサイトに公開される。
- 20.4 WAPCへの出場資格のある演者は24時間以内にIPSFのウェブサイトに公開される。

21.AWARDS (賞)

- 21.1国内大会に出場する全ての演者は、国内ポールアーティスティック権大会 20XX の優勝タイトルを目指して競技するものとする。オープン大会に出場する全ての演者は、オープンポールアーティスティック権大会 20XX の優勝タイトルを目指して競技するものとする。
- 21.2メダルセレモニーの間は、スポーツ用トレーニングシューズまたは裸足でなければならない。
- 21.3その他全ての演者は、参加証明が授与される。

Rights and responsibilities (権利と責任)

22.RIGHTS AND RESPONSIBILITIES OF THE PERFORMERS (演者の権利と責任)

- 22.1全ての演者は、ルール、規程、および更新情報を読まなければならない。
- 22.2全ての演者は、IPSF のルールと規程(rules and regulations)および倫理基準(Code of Ethics)を遵守しなければならない。
- 22.3全ての演者は、IPSF の倫理基準に署名し、それに基づいて振る舞わなければならない。
- 22.4全ての演者は、身分証明に関係する書類を携帯しなければならない
- 22.5全ての演者は、自身の健康状態を自己責任の元に管理し、演技ができる状態に保っておかなければならない。けがを避けるため、また、自信がなく危険が伴う可能性のある動きやコンビネーションは避けなければならない。
- 22.6 IPSF大会に出場する全ての演者は、負傷や事故は、原則演者自身の自己責任であることを理解しておかなければならない。
- 22.7演技前もしくは演技中のアルコールおよび薬物の使用は一切禁止である。
- 22.8演者による支出は、その演者自身が責任を負い、主催者には一切責任を負わない。本事項に関しては、登録時に署名を以って確認を行うこととする。
- 22.9全ての演者は、国際大会の開催国へ入国するのに必要なビザを取得しなければならない。もし、ビザ取得に関して問い合わせがある場合は、大会主催者側へ連絡すること。
- 22.10全ての演者には、採点や競技に関わる全ての公開情報を受け取る権利がある。一般的な情報は、ウェブサイト(www.polesports.org) (www.japanpolesports.org) に公開されている。
- 22.11 予選および本選開催中は、:
- ダブルスおよび混合のカテゴリを除いて、全ての演者は同性の演者と競技しなければならない。
 - ステージへ上がるようアナウンスがあるまで、演者はステージ外で待機しなければならない。

23.RIGHTS AND RESPONSIBILITIES OF THE ORGANISER (主催者の権利と責任)

IPSF および大会主催者は以下の権利を享受する:

- 23.1 ルールと規程(rules and regulations)やその附則をいつでも変更できること。あらゆる変更は、すぐに www.polesports.org にて公開される。
- 23.2 ルールや規則、倫理基準に違反した演者への罰則や失格を審査員長へ指示すること。
- 23.3 ルールや規則、倫理基準に違反した審査員の失格を審査員長へ指示すること。
- 23.4 大会開催前もしくは開催中における、ルールと規程(rules and regulations)または倫理基準に明記のない項目の決定。
- 23.5 主催者は、負傷/事故発生時における応急処置、および重傷な場合の医療行為の補助を提供する。負傷発生時の競技の開始または続行可否は、現場の医療担当者が最終決定を行う。
- 23.6 IPSF と主催者は、演者や関係者の所有物遺失について、一切の責任を負わないものとする。

大会主催者は以下の責任を負うものとする:

- 23.7 前述の規則にて言及されているすべての競技規則を公開すること。
- 23.8 競技に関するあらゆる変更をホームページ上で公開すること。
- 23.9 演者と審査員が同時に使うことのないよう隔離されたトイレ付の演者用更衣室とウォームアップルームを提供すること。
- 23.10 ポールの設置確認とテストを行うこと。
- 23.11 競技の開始前に、演者へポールを確認する機会を提供すること。
- 23.12 各演技前にポールを清掃すること。
- 23.13 競技に必要な情報を審査員へ提供すること。
- 23.14 事故や負傷の発生時に、応急処置を提供すること。
- 23.15 選手の提出するテーマ/テクニカルシートを確認し、衣装、靴、小道具などがステージやポールを傷つけるものではないか、選手に証明書を提出させること。そのうえで、相談はマスタージャッジにすること。

Complaints (抗議)

24.GENERAL COMPLAINTS (般的抗議)

- 24.1 演者はスコアに関する異議申し立てはできない。審査員のスコアが最終スコアである。
- 24.2 さらなる抗議は、7営業日以内に主催者に書面で行われなければならない。
- 24.3 更に詳しい情報に関しては大会開催側へ問い合わせること。

IPSF Scoring System (IPSF スコア採点システム)

この文書の内容は演者やコーチが国内大会で用いられているスコア採点システムについて説明した詳細文書であり、どのように採点が行われるのか、いつファイナルスコアが発表されるのか等、詳細が記載されている。

Personal scores (パーソナルスコア)

トータルスコアは演技が全て終わった後に発表されます。審査結果について審査員席に立ちいって協議することは不可。

Finalists (In the case of preliminaries) (ファイナリスト (予選がある場合))

ビデオ予選審査のある場合、各カテゴリーのファイナリストの発表は選手登録申込締切最終日より 14 日以内にオーガナイザーのウェブサイトで発表される。

Finals (ファイナル)

ファイナル当日のすべてのカテゴリーの結果は大会最後の表彰式で発表される。演者は最後の演技が終了後の約 15 分後にステージに呼ばれる。ステージにそれぞれのカテゴリーが呼ばれ、優勝者がスコアとともに発表される。また主催者のウェブサイトでも全てのスコアが公表され、IPSF ワールドアーティスティックランキングに WPAC への資格取得演者が子運用される。

Guidance on your scores (スコアについてのガイダンス)

スコアシート及び付随ルールを参照のこと。

IPSF COMPETITIONS NO-SHOW POLICY

Purpose(目的) :

この NO-SHOW POLICY は International Pole Sports Federation's (IPSF) のナショナル大会およびインターナショナル大会に参加する選手が開催大会、イベントに出席しない場合に IPSF がどのように選手に対応するのか概要をまとめたものである。

Context(内容) :

このポリシーは、これまで選手が大会に無断で出席しなかったり、大会主催者へ申し出無のまま大会に出場することが頻繁に有った為導入された。このポリシーによって以下のような問題を排除するためである：

- 他の選手の大会出場を妨げる行為
- 大会主催者側の進行を遅らせる行為
- ポールスポーツの支援者や観客に対して失望させる行為
- 大会スケジュールを妨げる行為
- スポンサーとの間柄を困惑させる行為

Expectations for informing Competition Organizers(大会主催者側への連絡):

大会に出場を申し込んだにもかかわらず出場を欠席せざるを得ない選手は、出場不可の理由と、どれくらい前に欠席を申し出たかによって、下記のうち当てはまるものに従わなければならない。

1. 選手は欠席する旨をナショナル大会またはインターナショナル大会の主催者側へ知らせなければならない。申出期限は、大会開催の3週間前である。選手は責任を持って申出期限を既知すること。
2. 申出期限を過ぎて出場欠席を申し出る場合は、主催者側へ迅速に連絡すること（状況によっては選手自身の代わりに代理人によって申し出る事も可能）。医療（治療）証明書原本を info@polesports.org へ提出が必要。（原本が英語でない場合は、英語に訳したコピーも併せて提出が必要）。
3. 医療的事由ではなく、知らせもなく突然選手が欠席となった場合は、info@polesports.org へ欠席理由を直ちに連絡し、IPSF 重役委員によってその理由が認められるか否か決議される。もし事由が認められなかった場合は、以下のような制裁がある。

IPSF Notification Procedures (IPSF 通知手続きの流れ) :

1. 選手は大会開催後7日以内に上記記載している欠席理由や医療証明書等提出をすること。
2. もし7日以内に提出がなかった場合は、IPSF はその選手に対して無断欠席 (No-show) として登録される旨の通知を送付する、
3. もし選手から何も返答が無い場合は、IPSF は無断欠席として登録し、下記にある制裁を与える。
4. 無断登録の控訴を希望する場合は、無断欠席の通知を受けて7日以内に控訴申出ること。IPSF の重役委員によって査定される。

Sanctions(制裁) :

IPSF のナショナルおよびインターナショナル大会への出席規定に沿わない者は、無断欠席選手として登録され、大会開催日より1年間、全ての地域、国内、国際大会の出場を禁止とする、名前や大会などの詳細は、IPSF のナショナルおよびインターナショナル大会ウェブサイト公開される。